

## 英語の干渉

ポーランド語の単語を、英語の発音に従って読んでしまう癖について少し述べたいと思います。学生達にとって、一見して英語を思わせる単語は（実際に英語からの借用語も、ラテン語など、他の言語からポーランド語に入ってきたものも含めて）、しばしば誤って発音されています。例えば、*igzamin* (egzamin), *publiczny* (publiczny), *fankejonować* (funkcjonować), *stajl* (styl), *diuet* (duet), *rializować* (realizować), *ajdol* (idol), *prajwetny* (prywatny), *rilaks* (relaks), *delikejtny* (delikatny), *sakces* (sukces), *komiunikacja* (komunikacja), *sentrum* (centrum), *kultura* (kultura), *grant* (grunt), *igzekucja* (egzekucja), *lida* (lider), *kompiuta* (komputer), *karakta* (charakter), *ajdentyczny* (identyczny), *ikonomia* (ekonomia), *prodżekt* (projekt), *insajklopedia* (encyklopedia), *dżunior* (junior) など。



---

<sup>25</sup> 第一章、母音 e, a の項を参照のこと。

上に挙げたような、学生の発音を観察すると分かるのは、発音方法が決して一貫していないということです。たいていの場合、語の最初の部分は英語の発音に従って読まれ、最後はポーランド語の発音で終わっています。

ポーランド語は、外国語から単語の形をまずそのまま借用し、次に音声、屈折、造語論的観点からポーランド語に適合させていきます。従って、上に挙げたような単語は、表記に従って読む必要があるのです。